

# 滝の原便り

社会福祉法人西仁会 広報誌

〒320-0851 宇都宮市鶴田町3 3 8 1

TEL 028-632-7577

緊急事態宣言下の東京を中心に新型コロナウイルスの第5波到来である。これまでの感染拡大→緊急事態宣言そして感染縮小→宣言解除の繰り返しを、完全に絶つにはワクチンしかないのかも知れない。しかし、現状はそれが十分進んでおらず感染拡大に歯止めがかからない状況だ。今求められるのは感染対策の実効性を高めることとスピードである。一刻も早い感染縮小と全国民の接種完了を願うばかりだ。

当法人におけるワクチン接種は、施設利用者は6月中、職員は7月初旬に終了した。これにより当法人内の感染リスクは大幅に低減したことは確かだが、ワクチン効果は100%ではない。また、本県内では東京圏程の感染拡大ではないものの、感染力の強いデルタ株の感染の広がりや置き換わりが進んでおり、当面は現行の感染防止対策を継続していきたい。

法人内接種が一段落した7月初旬、ファミリー滝の原において映画鑑賞会が行われた。この鑑賞会が始まった当初は16mm映写機を使用していたが、現在では機器操作が簡便なDVDプロジェクターを主に使用している。映画館には到底及ばないが、テレビでは味わうことのできない「大きなスクリーン、迫力ある音響」もあって利用者から大変好評を得ている。

今回、上映した作品は「紅い袴―富岡製糸場物語―」。この映画は富岡製糸場の世界文化遺産登録3周年を記

念して富岡製糸場の価値や魅力を後世に伝えるため富岡市により企画製作され2017年公開された。ドキュメンタリーとドラマを織り交ぜた構成で、日本の近代化を支えた富岡製糸場の歴史や、そこで働く工女らの人間ドラマを描いた。

明治維新後、明治政府は国力強化のための外貨獲得を目指し、製糸産業の育成に取り組んだ。当時、生糸は日本の最大の輸出品であった。課題であった品質向上や量産化を推し進めるための核として期待されたのが官営の富岡製糸場であった。

明治5年2月製糸場建設と並行して政府は製糸場で働く工女を募集したが、外国人が指導する富岡製糸場の募集は難航した。同年10月の操業開始時には工女の不足から、操糸器の半分程度を使つての操業であったが、翌年4月には工女は500人を超え不足は解消された。このときの入場者の中に、この物語の主人公「横田英（よこた・えい）」がいた。



横田英は旧信州松代藩士の娘で、このとき17歳であった。国元・松代での器械製糸の技術者を目指す英は目標であった一等工女に昇格し約1年5月の修練期間を終え松代の製糸所（六工社）で器械製糸の指導者として活躍することになる。後に英は当時の様子を綴った回想録「富岡日記」を世に出した。この日記をもとに映画（物語）がつくられた。

この映画には、主人公「大河（青天を衝け）」主人公「沢沢栄」（30歳当時）や従兄で学問の師でもある尾高淳忠も登場する。沢沢は明治2年大隈重信の要請で得で大蔵省官吏となった。翌3年、政府は官営富岡製糸場設立を決定し、栄一はその設置主任に就く。製糸場設立を指導したフランス人生糸検査技師、ポール・ブリュナとの契約などに携わった。同じ大蔵の官吏であった尾高淳忠はこの建設にも尽力し初代の場長を務めた。

約100分の上映が終わると、会場（利用者）から大きな拍手が起こった。今回の映写会、喜んでもらえるか少々不安であったが、利用者の拍手と表情を見て胸をなでおろした。

理事長 高野 俊彦



# ファミリー滝の原

## 【子どもの日】昼食：お子様ランチ

メインにデミオムライスを提供しました。プリンに生クリームのさくらんぼをのせて豪華に。昔ながらのお子様ランチを楽しんでいただけましたか？午後のレクリエーションでは紙芝居を楽しんで頂きました。おやつはこいのぼりクレープです。



## 【栃木県民の日】

餃子や湯葉、ぶどうのフルーチェなど栃木県のおススメ食材を使った献立です。おやつにはキレイな苺ゼリーでした。



## 【和風喫茶】6月の毎週土曜日

各階にて和風おやつを提供致しました。皆様とても喜んで下さり、緑茶も茶葉から抽出し本格的にお出ししました。



## 【映画鑑賞会】

1階リハビリ室にて映画鑑賞会を開催しました。皆様に喜んで頂ける様な映画を定期的にお届けします。今回の上映は『紅い袴(あかいたすき)』でした。



## 【七夕】

昼食：カラーそうめん  
おやつ：天の川スイーツ

どちらもカラフルで可愛らしいお食事でした。レクリエーションとしては、利用者様に「はがき書き」「うちわづくり」「万華鏡づくり」お好きなものを選んで頂きました。皆さん真剣に作成されていました。皆様のご自宅にはがきは届きましたでしょうか？

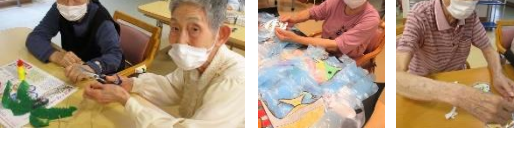
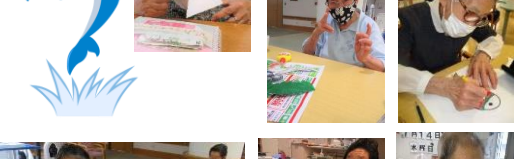
皆様宛先を誰にしようかと悩んでいらっしやいました。



# 通所リハビリテーション

## 今月の壁面制作

7月と言えば夏！夏といえば海！ということで今月の壁面は、蒸し暑い夏の壁面を涼しく彩る「海」がテーマです。いろいろな海の生き物も皆さん個性的な色に塗り上げてくださいました。水の流れも立体的で躍動感があつて、とても素敵な壁面が完成しました。細かい作業も頑張って頂きましたから・・・苦勞が報われる瞬間です。



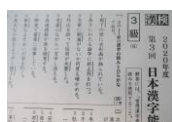
## 脳トレ

当施設では様々な脳トレメニューを用意しています。例えば、実際の漢字検定の問題を解いてもらう事もあります。

10級(80字)〜1級(約6000字)とレベル別の問題があり(ちなみに常用漢字は2136字だそうです)それぞれのお好みに合わせて挑戦してもらっています。

## 七夕飾り

七夕では、五色の短冊に願い事を書いて頂きました。綺麗な飾りつけも利用者さん作です。みんな思い思いの願い事が天まで届きますように。





# 滝の原苑

## 〈こどもの日昼食会・お茶会〉 5月5日(水)

今年のメニューは、こいのぼりを模った三色ごぼんにフライの盛り合わせ・ミニグラタン・スパゲツティーナポリタン・盛り合わせサラダにコーンスープでした。

お茶会メニューはこいのぼりに飾り付けたバームクーヘンでした。みなさん童心に帰り、楽しいひと時を過ごされました。



## 〈和風喫茶〉 5月28日(金)

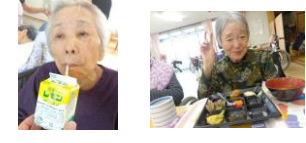
抹茶づくしのメニューでしたが、抹茶アイスはなかなかの好評でした。



## 〈北関東ごはん旅〉 6月15日(火)

昼食時に北関東ごはん旅と称し、スペシャル弁当を堪能致しました。

昨年は県民の日スペシャルとして、栃木県の食材をふんだんに使ったスペシャル弁当でしたが、今年は群馬県、茨城県の食材も取り入れ、北関東のスペシャル弁当となりました。



## 〈あじさいの日〉 6月30日(水)

メニューは、あじさいゼリー・ところてん・ロドーナッツ・きなこ餅せんべいでした。梅雨時の憂鬱さをひと時忘れ、楽しい時間を過ごされました。



## 〈七夕昼食会・お茶会〉 7月7日(水)

滝の原苑は七夕といえば「そうめん」。そうめんはなかなかの人気メニューです。

今年のメニューは、彩そうめん・七夕ちらし・夏野菜のかき揚げ・夏マリネでした。彩りもよく、トッピングの違うそうめんは、好評でした。お茶会は、メロンゼリー・日向夏ケーキ・スイカと、どれから食べようか悩んでしまう華やかな一皿でした。利用者の皆さんから大好評でした。



## 〈喫茶メニューの日〉 7月23日(金)

喫茶メニューの日と称し、昔懐かし「プリンアラモード」を楽しまれました。

一年遅れのオリンピッククも開催され、プリンアラモードを食べながらテレビの前でオリンピックの応援に力をいれている利用者もおりました。



# ケアハウス滝の原苑

## 県民の日

県民の日を記念して北関東名物グルメを味わって頂きました。まずは栃木県。全国ナンバードワンを誇る宇都宮餃子、ゆるキャラ日本一「さのまる」で有名な佐野市のいもフライ。世界遺産日光東照宮で有名なゆばの炊き合わせ。栃木愛に真心こめた一品に皆様の心がときめき郷土愛を改めて感じる事ができました。続いては同じ海なし県の群馬県。鳥めしおにぎり、こんにやくの味噌田楽。こちらも群馬を代表する一品です。

北関東唯一の海あり県、茨城県はうめちりおにぎり、魚のすり身を使用したパイタ焼きです。最後に北関東共通で今も愛されるすいとん汁です。皆様が楽しみそれぞれの味を楽しまれました。



## 七夕祭り

皆様の願い事で多かったのは「コロナが収まって気軽に外に出かけたいです」とのことです。一日でも早く収束してほしいですね。昼食の七夕メニューとして色とりどりの素麺とちらし寿司が提供されました。皆様に美味しいと好評でした。



### ご存知ですか

#### 「伊達政宗は眼帯を着けていなかった」

奥州の覇者「伊達政宗」、これまで数多くの映画やドラマに登場してきました。中でも1987(昭和62)年に放送されたNHK大河ドラマ「独眼竜・伊達政宗」は平均で40%近い歴代最高の視聴率を記録しました。主演を務めたのは渡辺謙さん。右目に着けた刀の鐔形の眼帯、印象に残っている方は多いのではないのでしょうか。

政宗に付けられた「独眼竜」とは隻眼の英傑に与えられる異称です。その元祖は中国・五代十国時代(907〜960年)の英傑「李克用(り・こくよう)」ですが、政宗にこの異称が付けられたのは戦国時代ではなく、江戸後期に活躍した儒学者頼山陽(らい・さんよう)の漢詩が初見とされています。

政宗が幼少の頃、病気(疱瘡)で片目を失ったことは、仙台藩の公式記録からも明らかですが、ドラマなどで政宗が身に着けていた刀鐔型の眼帯は事実ではなくフィクションなのだそうです。政宗は亡くなる際「親から頂いた体の一部を失ったのは親不孝である。よって死後画像などには必ず両眼を備えよ」と遺言を残しており、現存する政宗の尊像や画像などはすべて両眼が備わっています。

先般、NHKの歴史番組では、伊達家当主と国立科学博物館の協力を得て伊達家墓所・瑞鳳殿発掘調査(1974・昭和49)で発見された政宗の頭蓋骨の模型石膏型を使って生前の顔の復元(復顔)などを行いました。

復顔については1974年発掘調査の後も行っていますが、今日の復顔の技術や正確性は極めて高いのだそうです。令和時代に復顔された政宗、由来ともされる「伊達男(人目を引く、かっこよさ)」に正にふさわしい顔立ちのように感じられますが、いかがでしょうか。



伊達政宗の復顔像  
(40代後半)



NHK大河ドラマ「独眼竜正宗」

### 編集雑誌

平年より3日早く(7/16)梅雨が明けました。それにしても雨の多い梅雨でした。期間は短かった(平年の約75%)のに、その間の雨量は平年の174%(宇都宮)の多さでした。これから本格的な台風シーズンとなりますが、昨年は12年振りに「台風上陸ゼロ」の年でした。残念ながら今年には既に8号が宮城県に上陸(7/28)、幸い大きな被害はなかったようです。これで終わりにして欲しいのですが・・・

直前まですったもんだがありました。東京五輪が開幕いたしました。205の国・地域から約1.1万人の選手参加のもとに連日熱戦が繰り広げられています。東京五輪閉会後はパラ五輪(8.24〜9.5)が行われますが、両五輪が無事終了し多くの人たちが感動し深く記憶に残るものであつて欲しいですね。コロナ禍で連日の猛暑、自宅ですぐ冷えたビールなどを飲みながらテレビで応援しましょう。

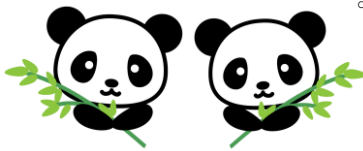
最近の明るいニュースといえば、メジャーリーグ(MLB)4年目を迎えた二刀流・大谷翔平選手の大活躍でしょうか。打者として本塁打33本を放ち、投手としては13先発で4勝をあげ、MLB夢の舞台・オールスターに史上初となる指名打者と投手の両部門で選出されたのです。リーグ後半も、この調子を維持し本塁打王などのタイトルを取ってほしいですね。

コロナ禍の東京では、上野動物園のジャイアントパンダの双子の赤ちゃんが誕生(6/23)しました。性別は雄と雌と分かり(7/9)、2頭ともすくすく育っているようです。今後名前を公募するようですが、いつ頃になれば動物園で見られるのでしょうか。4年前のシャンシャンの場合ですと誕生から半年後でしたので、早くとも来年の初めの頃になるのでしょうか。楽しみですが、当初は暫らく抽選による見学になるかも知れません。

暑さはまだまだ続きます。ご自愛ください。  
今回の発行は11月1日です。



SHOHEI OHTANI



### 新入職員のお知らせ



ファミリー滝の原

介護職